第 19 講
ノルマン人・ビザンツ帝国・十字軍

ゲルマン人の移動の第２波の話。人口増加と耕地不足から移動を開始した。バルト海付近を原郷としたノルマン人（ヴァイキング＝入江の民）のうち，スウェーデン系の (1)〔　　〕の (2)〔　　〕が (3)〔　　〕年に建国したのが (4)〔　　〕だ。ノブゴロドは毛皮の集散地。「ルス」が「ロシア」の語源だということを忘れないでね。つまりロシア人というのはスラヴ人とノルマン人の混血だということになる。この一派が (5)〔　　〕川沿いに南下し (6)〔　　〕年に建国したのが (7)〔　　〕だ。キエフは黒海とバルト海を結ぶ交易ルートの中継点。同国の (8)〔　　〕（リューリク朝）が**東ローマ（ビザンツ）皇帝の妹と結婚することによりギリシア正教化したことが，ロシアの地の正教化の始まりだ**（(9)〔　　〕年)。

【現在のノルマン国家】ノルマン人の (10)〔　　〕が (11)〔　　〕年**北フランスに** (12)〔　　〕を建国，その子孫の (13)〔　　〕が (14)〔　　〕年の (15)〔　　〕でイングランドを**征服**しノルマン朝を開いた。これがイギリス最初の本格王朝。**イギリスはこの 1066 年を建国の年号と定めている**。別の一派はノルマンディーから南イタリアへと進出し，(16)〔　　〕年に (17)〔　　〕が (18)〔　　〕を建国，その中心地 (19)〔　　〕は (20)〔　　〕**語から** (21)〔　　〕**語への翻訳の中心としてイベリア半島の** (22)〔　　〕**と並び大いに栄える**ことになる。

11 世紀にはノルマン人の活動は沈静化した。この間にキリスト教に改宗し北欧３国が形成された。８世紀頃できたデンマークはバルト海に進出しハンザ同盟と抗争した。ノルウェーは９世紀末に建国されアイスランドを支配した。(23)〔　　〕はキエフをモデルに建設された都市だ。(24)〔　　〕は北欧最大の都市だった。10 世紀頃できたスウェーデンはウラル語族フィン人の国フィンランドを支配下に置いた。(25)〔　　〕年には (26)〔　　〕が結成された。これは**デンマーク女王** (27)〔　　〕**を中心とした北欧３国の同君連合**で 1523 年にスウェーデンが離脱するまで存続した。同盟解体後，デンマークがノルウェーを，スウェーデンがフィンランドを支配した。ノルマン人の別の一派は，アイスランド，グリーンランドから北極を越えて北米大陸に達した。また東ローマ帝国の都コンスタンティノープルを脅かすこともあった。

解答

（１）ルス族（ルーシー）　（２）リューリク　（３）862　（４）ノブゴロド国
（５）ドニエプル　（６）882　（７）キエフ公国　（８）ウラディミル１世　（９）989
（10）ロロ　（11）911　（12）ノルマンディー公国　（13）ウィリアム　（14）1066
（15）ヘースティングズの戦　（16）1130　（17）ルッジェーロ２世　（18）両シチリア王国
（19）パレルモ　（20）アラビア　（21）ラテン　（22）トレド　（23）オスロ
（24）ベルゲン　（25）1397　（26）カルマル同盟　（27）マルグレーテ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【封建制度の成立】ヴァイキングは小回りのきく舟でパリのある(28)〔　　〕川をさかのぼる。(29)〔　　〕川沿いに古城が多いのも元はと言えばヴァイキング対策だ。たとえば農奴（のうど）は領主と「川まで３日間」と契約を結ぶ。ヴァイキングが襲来（しゅうらい）したら契約をドライに履行（りこう）する。二君にまみえることもある。農奴は週の半分を(30)〔　　〕で(31)〔　　〕に従事，半分は(32)〔　　〕の産物を(33)〔　　〕し，(34)〔　　〕や教会への(35)〔　　〕も課された。収入が賦役による荘園を(36)〔　　〕という。12 世紀以降は貨幣地代が主流になり賦役によらない荘園を(37)〔　　〕（地代荘園）という。

現代ベルギーの歴史家**ピレンヌ**は「(38)〔　　〕」と述べた。**イスラーム・ノルマン・マジャールなどの侵入という外圧があったからこそ，ヨーロッパ世界が成熟したのだ**という説明である。

解答

（28）セーヌ　（29）ロワール　（30）領主直営地　（31）賦役（ふえき）（労働地代）
（32）農民保有地　（33）貢納（こうのう）（生産物地代）　（34）結婚税・死亡税　（35）十分の一税
（36）古典荘園（しょうえん）　（37）純粋荘園　（38）ムハンマドなくしてカールなし

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

最後のローマ皇帝テオドシウスは395年に死ぬ時に長子アルカディウスに東を次子ホノリウスに西を分封した。東ローマ（ビザンツ）帝国の都は (1)〔　　〕だ。

【ユスティニアヌス帝】(2)〔　　〕帝は (3)〔　　〕朝の (4)〔　　〕と抗争した。ゲルマン人の (5)〔　　〕王国と (6)〔　　〕王国（(7)〔　　〕年に征服したのでユスティニアヌス帝を６世紀の人物と覚える）征服し西ゴート王国からも領土を奪い，地中海をほぼ一周制圧し再び「ローマ人の海」とした。イタリアの (8)〔　　〕にある (9)〔　　〕様式の (10)〔　　〕大聖堂には，ユスティニアヌス帝夫妻の描かれているモザイクがある。

さらにユスティニアヌス帝はコンスタンティノープルの (11)〔　　〕様式の傑作 (12)〔　　〕大聖堂を修築（しゅうちく）した。競技場の暴動に端を発した (13)〔　　〕で焼失したものを再建したのだ。またプラトンの創設した (14)〔　　〕を閉鎖した。さらには (15)〔　　〕に命じ『(16)〔　　〕』を編纂させた。中国から (17)〔　　〕業が伝わり (18)〔　　〕が奨励された。

【(19)〔　　〕】公用語がラテン語から (20)〔　　〕語となった。ビザンツ帝国は７世紀の (21)〔　　〕の時代になると東部地域シリアと (22)〔　　〕をアラブ人のイスラーム教徒に侵食（しんしょく）される。このような状況で成立したのが全領域を小管区に分ける (23)〔　　〕だ。これは兵農一致（へいのう）の屯田兵制（とんでんへいせい）で軍管区に屯田兵を入植した。

【(24)〔　　〕】

ビザンツ帝国は皇帝がコンスタンティノープル教皇の任命権や教義規定権を有する (25)〔　　〕が大切。これは帝政ロシアに継承される基本的性格である。

イスラームの (26)〔　　〕のコンスタンティノープル攻撃をギリシア火という一種の火炎放射器で撃退した皇帝レオン３世が，(27)〔　　〕年にイスラームの影響で (28)〔　　〕を出し (29)〔　　〕を禁止（のちに復活）したことからローマ教会との間に溝ができはじめた。

解答

（１）コンスタンティノープル　（２）ユスティニアヌス　（３）ササン　（４）ホスロー１世
（５）ヴァンダル　（６）東ゴート　（７）555　（８）ラヴェンナ　（９）ビザンツ
（10）サン＝ヴィターレ　（11）ビザンツ　（12）セント＝ソフィア（ハギア＝ソフィア）
（13）ニカの乱　（14）アカデメイア　（15）トリボニアヌス　（16）ローマ法大全
（17）絹織物　（18）養蚕（ようさん）　（19）ギリシア化　（20）ギリシア　（21）ヘラクレイオス１世
（22）エジプト　（23）軍管区（テマ）制　（24）レオン３世　（25）「皇帝教皇主義」
（26）ウマイヤ朝　（27）726　（28）聖像崇拝禁止令　（29）イコン（聖画）崇拝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【東西教会分裂】800 年にローマ教皇がゲルマン人カールに戴冠したことにより距離がさらに広がった。両教会は最終的に (30)〔　　〕年に相互を破門した。ローマ教会とコンスタンティノープル教会のそれぞれが，カトリックとギリシア正教会として今日に至っている。９～ 11 世紀のマケドニア朝期は６世紀に次ぐ繁栄期。バシレイオス１世が創始者で**バシレイオス２世はトルコ系遊牧民が建てた第１次ブルガリア王国を滅ぼした**。

【十字軍】(31)〔　　〕年の (32)〔　　〕の戦いで皇帝ロマヌス＝ディオゲネスが (33)〔　　〕に捕虜になったので，少し後の皇帝 (34)〔　　〕がローマ教皇に援助を求めた。これが十字軍のきっかけとなる。また地方領主に国有地の管理をまかせ軍役などを課す (35)〔　　〕を実施したので，貴族の大土地所有が公認され兵農一致が崩れた。第 (36)〔　　〕回十字軍の攻撃を受け，首都コンスタンティノープルには (37)〔　　〕の植民国家 (38)〔　　〕が建てられ，ビザンツ帝室は内陸へ逃れ (39)〔　　〕となった。ニケーア帝国はのちにジェノヴァと同盟しコンスタンティノープルを回復する。(40)〔　　〕年に (41)〔　　〕の (42)〔　　〕に山越えの離れ業で征服され同帝国は滅亡。最後の皇帝の姪と結婚したのがモスクワ大公 (43)〔　　〕だったので，彼は東ローマ帝国の後継者として (44)〔　　〕（カエサルの意）と名乗った。（正式には実際に血を引く孫の (45)〔　　〕からがツァー）

古代ローマ史からビザンツ帝国滅亡までを扱った 18 世紀イギリスの歴史家が『(46)〔　　〕』の (47)〔　　〕だ。

西欧が自給自足の荘園経済が中心になった後もビザンツ帝国では**貨幣経済は衰えなかった**。また，ギリシア十字形と円屋根と (48)〔　　〕画を特長とする建築様式**ビザンツ様式**など独自の文化を形成した。

(49)〔　　〕は９世紀にギリシア正教を南スラヴ人へ布教した人物。布教のためギリシア文字をもとにグラゴール文字がつくられ現在ロシア語で使われている (50)〔　　〕に発展した。

解答

（30）1054　（31）1071　（32）マンジケルト　（33）セルジューク朝
（34）アレクシオス１世　（35）プロノイア制　（36）４　（37）ヴェネツィア
（38）ラテン帝国　（39）ニケーア帝国　（40）1453　（41）オスマン帝国
（42）メフメト２世　（43）イヴァン３世　（44）ツァーリ　（45）イヴァン４世
（46）ローマ帝国衰亡史（すいぼうし）　（47）ギボン　（48）モザイク　（49）キュリロス
（50）キリル文字

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

聖者・聖遺物崇拝が広まった10世紀末から「(1)〔　　〕」運動が起きた。貴族同士や非戦闘員に対し生命財産を侵害しないという平和誓約のことだ。また11～12世紀にかけてヨーロッパで聖地(2)〔　　〕熱が高まった。(3)〔　　〕・(4)〔　　〕・(5)〔　　〕が三大巡礼地だ。

ローマ教皇は東方教会の再統合をねらう。また北イタリア諸都市による東方貿易（(6)〔　　〕）が拡大。これらが十字軍の遠因だ。

(7)〔　　〕年の(8)〔　　〕の戦いで東ローマ皇帝は(9)〔　　〕朝に敗れたが，その脅威から東ローマ皇帝(10)〔　　〕がローマ教皇に，セルジューク朝により聖地イェルサレムが占領されたことを訴え支援を要請した。これが十字軍の近因。(11)〔　　〕年の(12)〔　　〕宗教会議で教皇(13)〔　　〕により(14)〔　　〕が提唱され，(15)〔　　〕年の派遣の結果，(16)〔　　〕が建国された。イェルサレム王国を占領したのが(17)〔　　〕を創始したクルド人(18)〔　　〕で，それにたいし結成されたのが第(19)〔　　〕回十字軍。第(20)〔　　〕回十字軍のメンバーは，神聖ローマ皇帝(21)〔　　〕，フランス王(22)〔　　〕（カペー朝），イングランド王(23)〔　　〕（プランタジネット朝）。しかし実際戦ったのはイングランド王だけ。第(24)〔　　〕回十字軍は「**教皇は太陽，皇帝は月**」と言ったとされる教皇(25)〔　　〕世が提唱，(26)〔　　〕の商人中心の派兵は東ローマの帝都(27)〔　　〕を攻め，(28)〔　　〕年に(29)〔　　〕を建国した。第５回十字軍は，神聖ローマ皇帝(30)〔　　〕世が教皇庁と対立しつつイスラーム教徒と妥協し，エルサレムで独自の支配を行なったものだ。第(31)〔　　〕回十字軍は，フランスのカペー朝の聖王(32)〔　　〕によるもので彼はチュニスで病死した。十字軍は最終的に(33)〔　　〕年エジプトの(34)〔　　〕が，十字軍最後の拠点(35)〔　　〕を陥落させ終了した。

解答

（1）神の平和　（2）巡礼　（3）イェルサレム　（4）ローマ
（5）サンチャゴ＝デ＝コンポステラ　（6）レヴァント貿易　（7）1071
（8）マンジケルト　（9）セルジューク　（10）アレクシオス１世　（11）1095
（12）クレルモン　（13）ウルバヌス２世　（14）第１回十字軍　（15）1096
（16）イェルサレム王国　（17）アイユーブ朝　（18）サラディン（サラーフ＝ウッディーン）
（19）３　（20）３　（21）フリードリヒ１世　（22）フィリップ２世
（23）リチャード１世　（24）４　（25）インノケンティウス３　（26）ヴェネツィア
（27）コンスタンティノープル　（28）1204　（29）ラテン帝国　（30）フリードリヒ２
（31）６・７　（32）ルイ９世　（33）1291　（34）マムルーク朝　（35）アッコン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 19 講　テスト

1　リューリクが建国したのは。

①　ノブゴロド国

②　キエフ公国

③　ノルマンディー公国

④　両シチリア王国

2　両シチリア王国の建国年は。

①　862

②　882

③　911

④　1130

3　両シチリア王国の都は。

①　パレルモ

②　シラクサ

③　ナポリ

④　アグリジェント

4　キエフはどの川に沿っているか。

①　ドナウ川

②　ドン川

③　ドニエプル川

④　ドニエストル川

5　封建制度の元として正しい組み合わせを選べ

①　ゲルマン ― 開放耕地制　　ローマ ― 恩貸地制

②　ゲルマン ― 恩貸地制　　ローマ ― 従士制

③　ゲルマン ― 従士制　　ローマ ― 開放耕地制

④　ゲルマン ― 従士制　　ローマ ― 恩貸地制

6　ユスティニアヌス帝の在位は何世紀か。

①　4

②　5

③　6

④　7

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　ユスティニアヌス帝が対決したササン朝の王は。

①　アルダシール１世

②　シャープール１世

③　ホスロー１世

④　ミトリダテス１世

8　皇帝レオン３世が聖像禁止令を発令した年号は。

①　555

②　726

③　843

④　1054

9　８のときのイスラーム王朝は。

①　ウマイヤ朝

②　アッバース朝

③　ファーティマ朝

④　セルジューク朝

10　1204 年にコンスタンティノープルにラテン帝国を建設した十字軍の回数は。

①　第１回

②　第２回

③　第３回

④　第４回

11　ラテン帝国を建設したイタリアの都市は。

①　ジェノバ

②　アマルフィ

③　ヴェネツィア

④　ピサ

12　地方領主に国有地の管理をまかせ軍役を課した制度は。

①　プロノイア制

②　テマ制

③　三圃制

④　デウシルメ制

第１９講　テスト解答

1	①	2	④	3	①	4	③	5	④	6	③
7	③	8	②	9	①	10	④	11	③	12	①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。